

議事録

審議会等名	令和2年度 第2回つくばみらい市図書館協議会
開催日	令和3年3月26日（金曜日）
開催場所	つくばみらい市立図書館 2階 会議室
出席者	出席委員 飯田博会長，富田委員，豊嶋委員，赤木委員， 小林委員，吉田委員，重松委員，石塚委員 欠席委員 飯田文夫副会長，笠原委員 事務局 福田教育長，飯泉教育部長，関生涯学習課長，吉田館長， 川田課長補佐，五十嵐司書
議案	(1) 図書館運営について ア 令和2年度 活動実績について イ その他 (2) 報告事項 ア 開館時間延長について イ コロナ対策について ウ 電子書籍導入検討について
議案概要	1 開会 午後1時30分 司会進行：関生涯学習課長 2 会長あいさつ（飯田博会長） 3 教育長あいさつ（福田教育長） 4 図書館長あいさつ（吉田館長） 5 職員紹介 6 議事 (1) 図書館運営について ア 令和2年度活動実績について イ その他 (2) 報告事項 ア 開館時間延長について イ コロナ対策について ウ 電子書籍導入検討について  (質疑等) (1) 図書館運営について 事務局から，(1) 図書館運営についてと、(2) 報告事項について 説明。 下記のとおり，質疑あり。

委員： 図書除菌機について何かPRはしていますか。広報紙などで図書も除菌していると分かると利用者が安心して利用することができると思います。

事務局： 市報に掲載し、図書館ホームページでも記事を掲載しています。(会議中に図書除菌機の記事が掲載された広報つくばみらい2020年12月号を回覧)

委員： 図書除菌機については本を借りた人が使いますか。それとも窓口の人が使いますか。

事務局： 基本的には本を借りた人が使います。操作手順が分かりにくい場合には、職員を呼んでいただければ操作手順を教えます。

事務局： イベントの再開についてですが、おはなし会などの再開について検討しているところですが、皆様からもご意見をいただければと思います。

委員： コロナの感染状況は予想が付きません。そういうところで、情勢を判断するのは難しいので、ここで判断するのは難しいと思います。図書館の判断にお任せするしかないと思います。

委員： 地域別で考えたほうがいいと思います。イベントが全部中止になってしまうので、地域(つくばみらい市)でやれると判断したことはやる、そうした方が活性化につながると思います。

クラスターが発生したら誰が責任を取るのか、ということもあると思いますが、徹底した感染防止対策をしてやってもいいんじゃないかと思っています。

委員： 不特定多数でやることに問題があります。まずは組織・グループなどでやっていくのではどうでしょうか。

委員： 学校を回って読み聞かせをしています。昨年10月から再開し、感染対策をして問題なく活動できています。

今回図書館のおはなし会の再開は延期となりましたが、もらっていた内容なら再開できたのではないかと思います。

事務局： 再開を考えていた矢先に子どもたちの感染があり、もう少し様子を見ることにしました。

委員： 怖い思いはありますが、子どもたちの成長は待ってくれないので、なんとか子どもたちの日常の中に本というものを位置付けたいとやっているところです。

委員： 大人の目線だけでなく、今一番影響を受けている子どもたちの目線でも考えなければいけないと思います。

委員： 学校では昨年の4・5月は動画の配信などを行って、子どもたちに状況を伝えてきました。例えば図書館でも新しく入った本の紹介とか、読み聞かせを Zoom で行ったり動画をアップしたりすれば、図書館にいけなくてもできることはあると思います。そういったかたちはどうでしょうか。

事務局： 場所によっては YouTube などで行っているところもあります。

事務局： Zoomでのお話し会については今のところ聞いたことはありません。YouTubeでの配信は著作権の関係があり、調整が必要となります。あとは図書館として機材の準備等も必要になりますので検討させていただきたいと思います。

委員： 対面でできない間だけでも、できたらいいと思います。

委員： イベントについては、今はいつどうなるかわからないので、今までのように長いスパンでの予定を立てるのは難しいと思います。

小回りの利く、今ならできるというイベントをやっていくように発想を変えていくしかないのではないかと思います。

事務局： 読書記録帳についてはPRが足りなかったところもあるので、また学校にPRできたらと考えています。新年度は小絹分館、みらい平分館でも記録帳が使えるようになりますので、普及させようと思っています。

委員： 読書記録帳は誰がもらっているのかを学校で把握できますか。

事務局： 図書館では把握しています。

委員： もし学校と連携して奨励していくなら、学校の中で誰が持っているか把握できると奨励しやすいです。

事務局： 誰に交付したかということが個人情報にあたらなければお伝えすることはできると思います。

事務局： 去年は校長会でお伝えしたこともあるので、来年度は学校の図書関係の方に連絡をとってPRしていきたいと思えます。

委員： 読書量が豊富な生徒が活躍できる場でもあると思うので、学校としても生徒が把握できると宣伝になったり、生徒の励みになったりするのではないかと思います。

委員： 読書記録帳は図書館の中にポスターなどは貼ったりしていないのですか。

	<p>事務局： カウンターの職員が声かけをしています。</p> <p>事務局： 申し込み台に申込手順のポスターがあり、カウンターにはチラシがあります。</p> <p>委員： G I G Aスクールで機材は充実しています。ノウハウがある人たちと連携して、例えば <b>Zoom</b> でのおはなし会の配信など検討してもらいたいです。</p> <p>委員： いろいろなご意見をいただきましたので、図書館の方で十分検討し、やれるものからやっていっていただきたいと思います。</p> <p>7 閉会 午後2時30分 司会進行：関生涯学習課長</p>
<p>そ の 他</p>	<p>傍聴人 0人</p>